

パワーシフト

重要

この度は、パワーシフトをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

以下の内容につきましては、交換作業着手前に必ずご確認頂きたく、宜しくお願いたします。

交換作業時のご注意

【交換作業】

■エア配管取り外し後はプラグキャップ等で異物混入防止をして下さい。

■エア配管接続は「シールテープ」や「液体シール剤」を使用して下さい。
シールテープは切れ端混入の原因になる場合がありますので、液体シール剤をおすすめいたします。

■チェンジロッド/ワイヤーとの接続の際は、「ねじれ」がないよう取り付けして下さい。
→ねじれがあるとシフト操作で重い等の不具合が発生する場合があります。

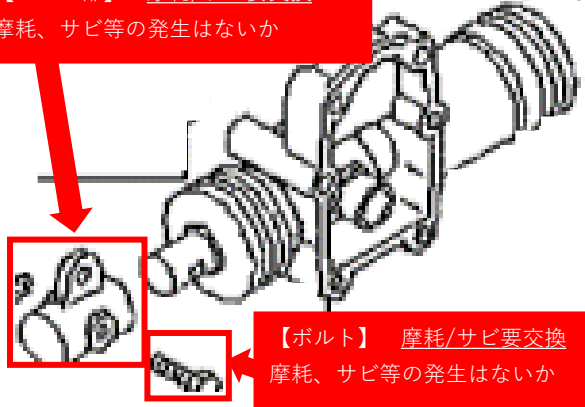
■**チェンジロッドワイヤー内部にサビ等が発生している場合**、摺動不良から**シフトが重くなる**等の不具合に繋がる可能性がありますので、取り外しの際はご確認下さい。

■**チェンジロッド/ワイヤーに接続するカバー/ボルトが摩耗している場合**、隙間より水等が混入し、ロッド内部にサビが発生し不具合に繋がる可能性がありますのでご注意下さい。(図1)

→**カバー/ボルトに摩耗、サビ等がある場合は交換をお願いいたします。**

(図1)

【カバー部】 摩耗/サビ要交換
摩耗、サビ等の発生はないか



【ボルト】 摩耗/サビ要交換
摩耗、サビ等の発生はないか

図2) 3点止めタイプは特にご注意下さい。



電動工具/インパクト等で締め付けは行わないで下さい。トラブルの原因になる場合があります。

→Nの位置にない場合、ストライカーが変形する場合がありますので、ご注意下さい。

【コア返却】

■取り外したコアは丁寧な取り扱いと早期返却にご協力をお願いいたします。

■本体に取り付けするボルトの締付について
図2) 参照

「規定トルク」

「センターが出るように均一に取りつける」

「仮止めでは操作しない」

→取り付けが正しく行われな場合、パワーシフトが損傷し、シフトが重い等、早期トラブルの原因になる場合があります。

■車両側のシフトは「N」ニュートラルの位置で作業を行って下さい。

トラブルシューティング

トラブル事例を記載致しました。もし、以下のような現象が発生した場合は、お手数ですがもう一度ご確認の程、宜しくお願いたします。

現象	原因と対処方法
シフト操作が重い	チェンジロッド/ワイヤーにねじれはないか エア圧は十分か。 エア配管等に詰まりはないか。 →ゲージ等で確認下さい。 本体の取り付け手順に問題はないか。 →「交換作業時のご注意」参照
シフト出来ない ギヤが入らない ニュートラル位置が合わない	ワイヤーの取り回し、取り付け位置に問題はないか。